



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して 電柱を撤去をします

地元の声

- ・災害時におけるライフラインを確保してほしい。（地元住民）

事業前

- ◆ 電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

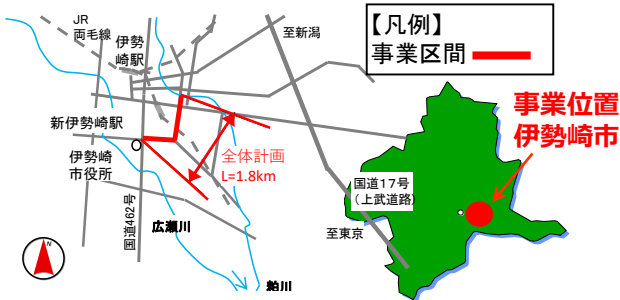
- ◆ 道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。



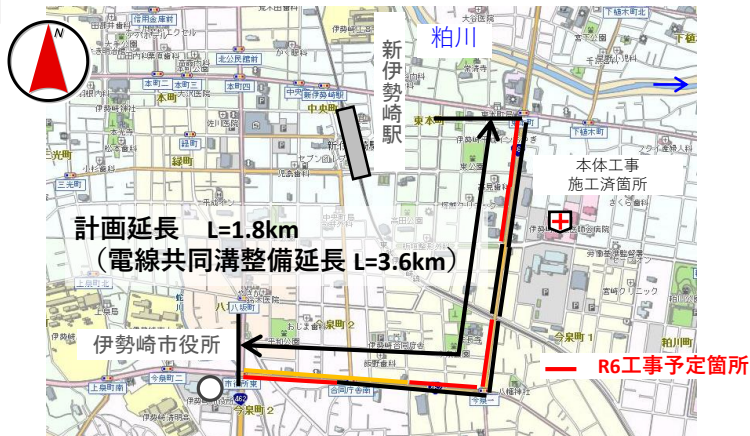
事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市今泉町二丁目～東本町
- 事業内容：全体延長 1.8km
電線共同溝整備延長 3.6km
- 事業期間：平成30年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和6年度は、引き続き、本体管路工事を実施します。

